

## メディアにみるスポーツヒーローモデル

### The image of the sports hero in the media

1K03B059-1 河合 美昭

指導教員 主査 リー・トンプソン 先生 副査 寒川恒夫 先生

#### 〈序章〉

スポーツの世界にはヒーローが存在する。幼少時代、野球とサッカーに熱中した私は、自然とそれらのスポーツの頂点にある存在ともいえるヒーローに憧れた。それは、野球では読売巨人軍の原辰徳や、サッカーでは鹿島アントラーズのジーコといった選手である。おそらくスポーツに関わる人ならば誰もが一度は、同じようにスポーツヒーローに憧れたことがあるだろう。

最近、テレビや新聞・雑誌を見ているスポーツ界のヒーローが取り上げられ、たびたび話題になることがある。しかし、私がメディアを通してみるヒーロー像は今と幼少時代に憧れたそれとは違うことがしばしばある。

そこで私は、その時代時代に存在したスポーツヒーローのメディアでの扱われ方を分析することで、疑問に感じたメディアによるヒーロー像の違いについて検証してみた。

#### 〈第1章〉先行研究

スポーツヒーローモデルはよく「モダンスポーツヒーローモデル」と「ポストモダンスポーツヒーロー」の2つに分類されて語られることが多い。

「モダンスポーツヒーロー」の特徴としては、「真面目」、「純粹」、「単体」といった近代(モダン)の価値を体現し、大衆に大きな影響を与え高度成長期の模範となったスター選手という点が挙げられる。

「ポストモダンスポーツヒーロー」の特徴としては、「モダンスポーツヒーロー」と対照的な存在であり、「莫大な報酬」、「華麗」、「個性的」、「名声」、「贅沢」といった特徴を持つという点が挙げられる。

しかし、メディアが成熟し、大衆のニーズとメディア側の視聴率や購読数などといった思惑が複雑に絡んだ中で、2つのヒーローモデルでは分類できない新しいヒーローが登場した。それらを私は「アンチスポーツヒーロー」と「ニューモダンスポーツヒーロー」とした。

「アンチスポーツヒーロー」の特徴としては、「モダンスポーツヒーロー」の特質を否定した存在であり、社会の諸問題に幻滅し、そこからの離反・離脱、あるいはそれらの問題への抵抗・反抗、さらにはヒーローをあざけり・嘲笑する存在として描かれる。また、メディアを巧妙に利用し主義主張をアピールするという点が挙げられる。

「ニューモダンスポーツヒーロー」の特徴としては、人々のニーズや欲望に影響される。過去の視聴率や購買数を参考にしてメディアによって構築される。人々の「ホメ・ケナシ欲求」によってスポーツヒーローが誕生させられ、消されていき、いわばセレブリティ(有名人)化していく。という点が挙げられる。

#### 〈第2章〉スポーツヒーローモデル

4つにカテゴリー化したスポーツヒーローモデルにおいてそれぞれの特徴から「モダンスポーツヒーローモデル」に長嶋茂雄、「ポストモダンスポーツヒーローモデル」に中田英寿、「アンチスポーツヒーローモデル」に野茂英雄、「ニューモダンスポーツヒーローモデル」に貴乃花光司を取り上げ、彼らの成績比較、そしてメディア露出比較として、主に朝日新聞記事の言説を分析し、メディアによる扱われ方の違いがあるかを調査した。

#### 〈第3章〉メディアにみるスポーツヒーローモデル

分析の結果、「モダンスポーツヒーローモデル」の長嶋茂雄は、主にプレーを報道される記事が多く、「ポストモダンスポーツヒーローモデル」の中田英寿は、「個」、「華麗さ」、「名声」といったことを報道される記事が目立っていた。「アンチスポーツヒーローモデル」の野茂英雄は、メディアによる扱いによりヒーロ的存在として報道されたり、一転メジャーリーグでの成功によりヒーロ的存在として報道されていた。「ニューモダンスポーツヒーロー」の貴乃花光司は、偉業だけにとどまらず、プライベート面の報道もなされ、結果としてメディアによって貴乃花光司のヒーロー像が構築されていったことがわかる。言説を分析することで、スポーツヒーローモデルごとにメディアにおける扱われ方の違いがでていることが証明された。

#### 〈第4章〉考察

言説を分析することで、スポーツヒーローモデルごとのメディアでの扱われ方の違いがあることが証明された。それと同時に、それら4つのスポーツヒーローモデルはきっちりと線引きがなされているわけではなく、他カテゴリーの要素も含んでいることがわかった。メディアが発達し、それにともないスポーツヒーローモデルも変容している。スポーツヒーローモデルとは、スポーツ本来の魅力を伝えるが、時代に要請された姿として描かれていると言えよう。